

右から南大隅町 森田町長、錦江警察署 有木園署長



錦江町、南大隅町暴力団排除措置等に関する協定調印式を行いました

6月29日(水) 午前9時から役場庁議室で、錦江町、南大隅町暴力団排除措置等に関する協定調印式を行いました。

錦江町では暴力団排除条例や町が行う契約からの暴力団排除措置に関する要綱などを制定しています。

今回の協定はこれらの条例や要綱を適用するにあたり、情報提供などのルールを定めたものです。

なお南大隅町でも同様の取り組みがなされており、今回の調印式は合同での開催となりました。

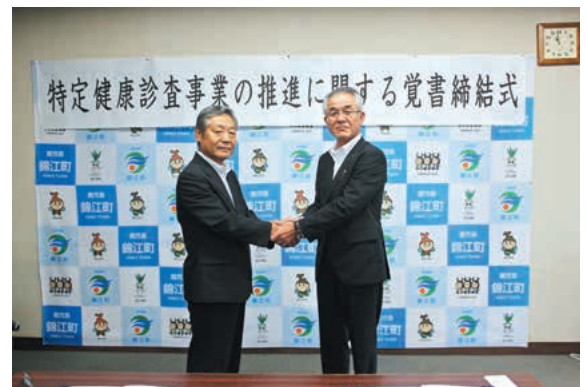


特定健康診査事業の推進に関する覚書締結式を行いました

6月29日(水) 午前11時から役場庁議室で、錦江町と鹿児島興業信用組合との特定健康診査推進事業の推進に関する覚書の締結式を行いました。

これは、健康診査を推進することによって、健康づくりや疾病・重症化予防を推進することを目的としています。町が実施する健康診査事業(基本健診など)を受診した方に対して定期預金の金利0.1パーセント程度の優遇を行います。県内では6番目の取り組みとなります。

本事業は8月1日からの開始となっています。詳しくは保健福祉課 保険衛生チーム(Tel.0994-22-3044)または鹿児島興業信用組合大根占支店(Tel.0994-22-0527)までお問い合わせください。



右は鹿児島興業信用組合 満田理事



観音堂の前で灯籠の飾りつけをするメンバー



半下石サロンで灯籠の飾りつけ

7月1日(金)、半下石自治会を拠点に地域の高齢者のふれあい活動を行っている20名(半下石サロン)が半下石公民館横の馬頭観音堂での灯籠祭り(7月21日)のために灯籠作りを行いました。子どもが半下石自治会に少なくなってから約20年間、灯籠制作は途絶えていましたが、今年は初めてサロンで灯籠作りを行いました。

この日は前回までに半紙を付けた灯籠に飾りつけを行いました。

メンバーの青木キサエさんは、「昔は馬と一緒に多くの人がお参りに来て、飲ん方をしていた。少しでもあのころのように人が集まれば」と話していました。



神川小学校 真鯛の放流体験

7月12日(火) 大根占漁港で神川小学校の児童35名が1万8千匹の真鯛の放流を行いました。漁業への理解を深めてもらったり、稚魚と触れ合うことで命の大切さを知ってもらおうと2年前からおおすみ岬漁協が町内の小学校を対象に実施している。

稚魚は生後100日で体長7cmほどの大きさです。

児童らは海と水槽を何往復もしてすべての稚魚を海に放流しました。堂園菜那さん(6年生)は「鯛が小さくてかわいかった。海で大きく美味しく育ててほしい」と話していました。



鯛の稚魚を放流する神川小学校児童